

# いふとん



仁淀川町  
広報

8

2006年  
月号 No.13



上川渡・戸立集落で古くから行われている「お接待」。農作業中の人々も涼しい大師堂で一休み

一

身

息

心

## 主な 内容

- 2・3.....わが町の台所事情④
- 4.....消防団夏季大会
- 5.....森山地区で防災学習会
- 8・9.....ほほえみ
- 10・11.....町営バス時刻表

# ゴミ処理予算1億6百万円

毎日の生活から生まれるゴミ。家庭から出されたゴミは、町から委託を受けた業者等が収集し、高吾北広域町村事務組合の高吾北清掃センターに持ち込まれ、処理されます。町の平成18年度予算では、収集運搬委託費約3千6百万円、高吾北広域町村事務組合への負担金約7千万円など、あわせて1億6百万円余りのゴミ処理関連予算が計上されています。

高吾北清掃センターへ管内3町から持ち込まれたゴミの量  
(平成17年度実績、単位:トン)

|      | 可燃ゴミ  | 不燃ゴミ | 粗大ゴミ | 資源ゴミ  | 計     |
|------|-------|------|------|-------|-------|
| 仁淀川町 | 1,552 | 71   | 134  | 278   | 2,035 |
| 越知町  | 2,054 | 32   | 181  | 362   | 2,629 |
| 佐川町  | 4,150 | 117  | 394  | 658   | 5,319 |
| 合計   | 7,756 | 220  | 709  | 1,298 | 9,983 |

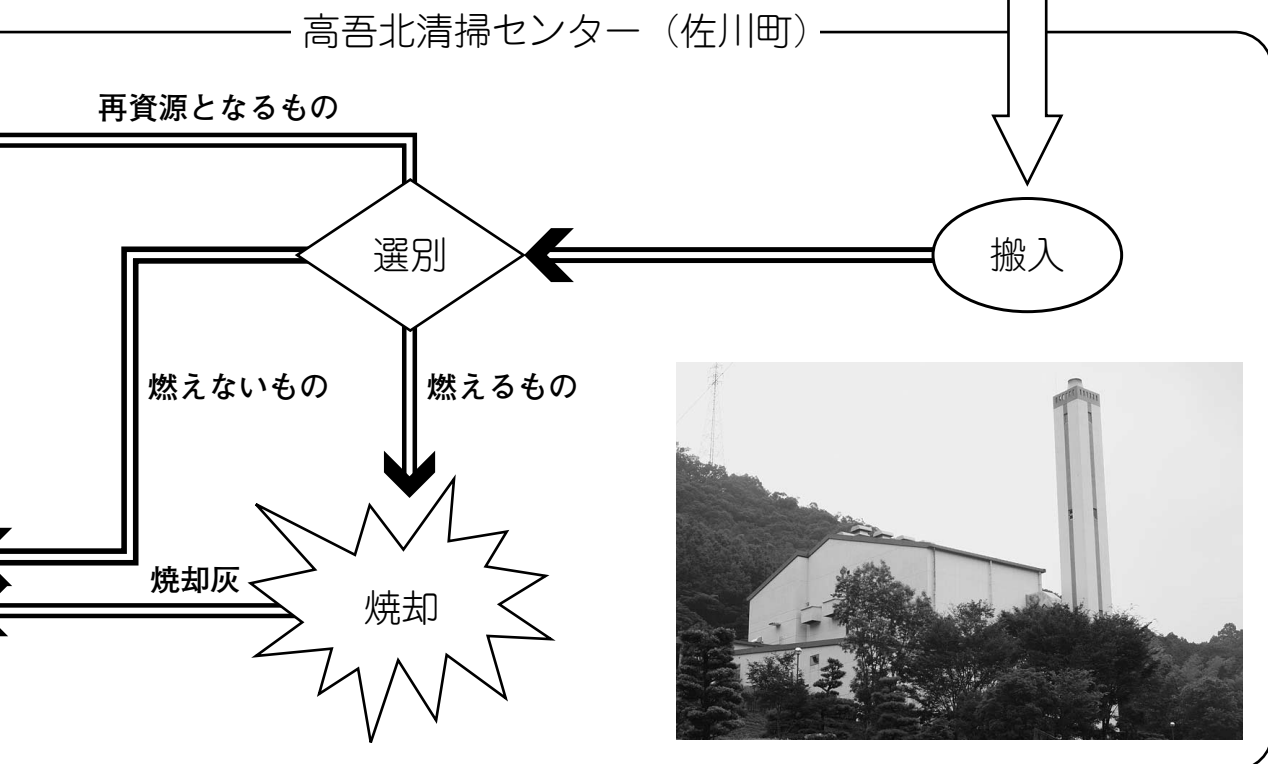
世帯平均六百キ排出  
平成十七年度に高吾北広域管内（仁淀川町・越知町・佐川町）から高吾北清掃センターに持ち込まれたゴミの総量は約一万トでした。  
仁淀川町からは二千三十五トが持ち込まれました。これは、一年で一世帯当たり平均約六百のゴミを排出したという計算になります。

**予算額一億六百万円**  
家庭から出されたゴミを収集し、高吾北清掃センターに運搬する業務は、町から業者等に委託しています。この委託費用として約三千六百万円が予算化されています。  
また、ゴミ処理を行う高吾北広域町村事務組合へ支払う負担金は約七千万円となっています。その内訳は、選別、破碎、焼却などを行う高吾北清掃センター（佐川町）の維



収集・運搬

ゴミはこのように処理されます



# メモ

## 〈高吾北広域事務組合〉

行政の仕事は町で行う以外に一部事務組合※によって行われる仕事もあります。町はその仕事を行ってもらうために一部事務組合に対し負担金を出します。仁淀川町が負担金を支払っている一部事務組合は4組合あり、その負担金総額は平成18年度予算で3億603万円となっています。

色々な事務組合がありますが、その中でも町民と最もかかわりが深いのが「高吾北広域町村事務組合」です。昭和39年に高吾北地域の5カ町村（池川町・吾川村・仁淀村・越知町・佐川町）により、消防、し尿処理、ゴミ処理、特別養護老人ホームなどの事業を広域的に実施、事業の効率化を図るとともに、安全で快適な地域づくりを行うために設立されました。

高吾北広域町村事務組合へ支払う18年度町負担金は2億9,188万円で、その内訳は消防関係分1億5,384万円、ゴミ処理などの環境衛生関係分9,432万円、福祉関係分3,312万円、その他総務関係等1,060万円となっています。

### ※一部事務組合

複数の市町村が、行政サービスの一部を共同で行うことを目的として設置する組織で、地方公共団体のひとつです。隣接する市町村が消防、ゴミ処理、火葬場等の運営を行うために設けることが多くなっています。

持管理費二千四百五十五万円、清掃センターから生じる焼却灰や処理残渣さんさを処分する高吾北処理センター（越知町）の維持管理費三百六十五万円、両施設の建設費の後年度負担分（借金の返済）が四百四十八万円となっています。

### 一世帯三万円の負担

この予算を町の世帯数で割ると年間一世帯あたり三万円を負担していることになりま

す。ゴミの量が減れば、それだけ処分に要する経費の軽減になると共に、環境の保全にもつながります。

ゴミを減らすには・・・

ゴミを減らすために日頃から次のようなことを心がけてください。

- ① 詰め替えのできる商品を利用する。
- ② 買う前に本当に必要なものかよく考えて購入する。
- ③ 食事は量を考えて作り過ぎ

- ④ 修理できるものは、修理して使用する。
- ⑤ 最後まで使い切る。
- ⑥ 生ゴミの肥料化を行う。
- ⑦ リサイクルショップやフリーマーケットを活用して再利用を図る。
- ⑧ 新聞、雑誌・チラシ、ペットボトル、びん、缶など再利用できる資源物は分別して資源ゴミの日に出す。

高吾北処理センター（越知町）



資源回収業者

清掃センターから生じる焼却灰や処理残渣は高吾北処理センターに運ばれ埋められます。

# 訓練の成果披露

七月九日、消防団夏季大会が、二百三十九人の団員と消防関係者、藤崎富士登町長や橋本眞一町議会議長らが出席して、池川山村広場と一ノ谷団地駐車場を会場に開催されました。

午前中はあいにくの雨となりましたが山村広場で開会式を行い、町長あいさつや青木幸雄消防団長訓示の後、服装および機械器具点検や分列行進などを行いました。

その後、一ノ谷団地駐車場の競技会場に移動し、ポンプ車操法など六競技を行いました。

気合いの入った掛け声と、きびきびとした動作で競技に取り組む各分団員は、日ごろの訓練の成果を十分に発揮していました。



雨の中分列行進

## 実践的な技術とチームワークを競う 消防団夏季大会

### 《競技の結果》

#### ポンプ車操法

- 1 位 池川分団
- 2 位 長者分団

#### 中継放水競技

- 1 位 池川分団
- 2 位 仁淀方面隊
- 3 位 中津分団

#### 小型ポンプ操法

- 1 位 森分団
- 2 位 池川方面隊
- 3 位 大崎分団

#### 缶送り競技

- 1 位 用居分団
- 2 位 名野川分団
- 3 位 泉川分団

#### 早出し放水競技

- 1 位 寺村分団
- 2 位 長者分団
- 3 位 池川分団

#### 早掛け放水競技

- 1 位 大崎分団
- 2 位 用居分団
- 3 位 川渡分団



小型ポンプ操法



機械器具点検



缶送り競技

# 自分たちの地域は自分たちで守る

## ▼森山地区で防災学習会▲

森山地区は、今年三月下旬から自主防災組織を立ち上げるための準備会を設置し、防災学習会や炊き出し訓練など、緊急時に備えた取り組みを重ねてきました。

七月六日の地区総会において、正式に森山地区自主防災組織が発足し、本格的な防災活動を行うための体制が整いました。同月十一日には、三月に行われた地震や土砂災害などの防災学習会の内容をさらに充実させるため、また地震などに対する意識をより一層高め

ようと学習会を開きました。

前半は、中央西土木事務所の森本剛生さん、地質調査技師の吉村典宏さんらに、危険個所のマップ作りのアドバイスや今後の取り組みなどの説明を受け、後半は地区内の農村公園で、起震車による地震体験が行われました。

自主防災組織のリーダー、石本和則さんは「自主防災の取り組みには期限はなく、無理せず長く続けられるよう、これからも企画したい」と語っていました。

大勢が参加した地震体験



### 暗闇の中、地震体験

真夜中の地震を想定した起震車による体験。幼児や小学生を含め約60人が体験しました。

参加者は真剣な表情で、高吾北消防署、田村営幸警防係長から地震時の注意点などについて指導を受けていました。

### 水による事故を防ぐには・・・

- ☆乳幼児は、家庭用ビニールプールなどの浅い場所でもおぼれることがあります。水遊び中には大人が付き添ってください。
- ☆危険な場所で遊んでいる子どもを見かけたら注意しましょう。
- ☆子どもだけで川や池に遊びに行かないようにしましょう。
- ☆川や海などで泳ぐときには、大人と一緒にいきましょう。
- ☆飲酒後や体調が良くないときには海やプールなどでの遊泳は絶対やめましょう。
- ※子どもだけでなく、大人も事故にあっていますので十分注意してください。

毎年、夏になると水による事故で多くの尊い命が失われています。水の事故の多くは、ちょっとした不注意で起きているので、未然に事故を防ぐことが大事になってきます。

## 水の事故を防ごう



救命講習を  
受講しませんか？

高吾北消防署では、地域や職場などのグループなどを対象に、普通救命講習を開催しています。ぜひ、いざというときのために受講してみてください。

申し込み・連絡先  
高吾北消防署  
☎26・2111